

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	41201
----------	-------

1. 開設大学	福山平成大学 経営学部	開講場所 (キャンパス・施設)	福山平成大学 2号館
2. 科目名	経営学における「人」の重要性：日本史と世界史の視点から		
	学問分野	番 号	名 称
3. 担当教員	経営学部 経営学科 江口圭一		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 31 年 10 月 19 日 (土) ~ 平成 31 年 10 月 19 日 (土) 12 時 30 分 ~ 15 時 40 分 (90 分 × 2 回)		
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /
5. 募集定員	30 人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>大学生になると、高校までで学んできたいろいろな学問分野の知識を統合し、自分なりの考えをまとめ、発信することが求められます。この授業では、16 世紀頃の日本と世界の歴史を振り返りながら、経営学との関係を取り上げてみます。</p> <p>戦国時代の武将である武田信玄の残した有名な言葉に、「人は城 人は石垣 人は堀」というものがあります。たとえ立派な城があっても、それを支える人の力がないと上手に使いこなせないし、信頼できる人の集まりは石垣や堀にも勝る力を持つと考えていたようです。経営学においても、「人(ヒト)」は「モノ」「カネ」「情報」とともに重要な経営資源とされています。しかし、経営学において「人(ヒト)」の重要性が注目されるようになったのは比較的最近のことです。</p> <p>一方、世界で初めての「会社」といわれる組織が正式に設立されたのは、戦国時代が終わり、徳川幕府が開府された頃、つまり、ちょうど 400 年ほど前の話になります。これが、欧州諸国が相次いで設立した東インド会社です。</p> <p>このように、日本史や世界史と意外なつながりがある経営学の歴史を振り返りながら、経営学において「人(ヒト)」が「会社」の中で、どのように捉えられてきたのかを考えていきます。</p>		
7. 受講料	無料		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
9. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 (3 人) 定員超過の不許可は選考により決定		
	② 不許可・不開講通知日 (7月14日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月15日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 特になし		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。